

# AIDS UPDATE

No.6 1998.12.7

広島大学医学部附属病院  
エイズ医療対策室  
内線2941 (輸血部副部長室)  
Internet: www.aids-chushi.or.jp

エイズ講演会  
『生きる目的/行動、  
そして差異を認めあう社会へ』

広島県と、広島エイズダイアルでは同封のようにエイズ講演会を開催します。演者の大石敏寛さんは同性愛者でHIV感染者として、一般への講演活動の他、医療従事者のセミナーでも講師として活躍中です。平日のお昼ですが、機会がある方のご参加をお勧めしたいと思います。

## 平成10年9～10月のエイズ統計

厚生省は2ヶ月毎に統計情報を発表しています。この中で広島県のHIV感染者とエイズ患者数は累計14+6名になっており、本院からの報告例も含まれています。2ヶ月で判明した人は118人で、うち発病して初めてわかった人が41人でした。危険がある人に検査を勧めて早期治療を受けられるようにしたいものです。また献血者からのHIV陽性者は今年度10月までで、10万人あたり0.879人となっている点が注目されます。



～第1回～  
エイズ医療対策室運営委員会

去る11月9日に初めての運営委員会が開催されました。なお本対策室は平成9年度に設置されたものです。ここで報告事項は、いわゆる「薬害HIV原告団」との協議に端を発していること、平成9年度に実施した事業、本院におけるHIV感染者の実態が報告されました(別に報告します)。協議事項としては、「平成10年度院内医療従事者等エイズ研修会」と文部省の「平成10年度エイズ対策費について」が話し合われました。前者についてはこれから日程をつめます。後者については外来棟3階の多目的室の整備、原医研内科外来診察室間のパーティション設置、病棟の空調改善、情報端末の導入などが話し合われました。



## <ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

e-mail: takata@aid-chushi.or.jp

[TAKATA, OE]